※結果分析(○できている ●できていない)
 〈学力調査〉

【国語】

- 意見と根拠など情報と情報との関係についての理解を問う問題と、短歌の内容について捉えることを求められる問題において、全国平均を上回った。
 - 具体と抽象など情報と情報との関係についての理解を問う問題については、全国平均と同程度だった。
 - 「思考力、判断力、表現力」における「読むこと」に関する2問において、全国平均を下回った。
 - 他者の発言と結びつけて自分の考えをまとめることや、必要な情報に着目して要約することを求められる問題において、無回答率が高かった。
- 読み取った内容を要約したり説明したり、自分の考えを書いたりすることに課題が見られる。

【数学】

- 「数と式」に関する3問、「データの活用」に関する1問、「図形」に関する1問において、全国平均を上回った。
 - 一次関数に係る式とグラフの特徴の理解を問う問題については、全国平均と同程度だった。
 - 「関数」「図形」における「思考・判断・表現」を問う2問において、全国平均を下回った。
 - 事柄が成り立つ理由を説明することや、筋道を立てて考え証明することを求められる問題において、無回答率が高かった。
- 文章やデータを粘り強く読み取り、知識と関連づけたり筋道を立てたりすることに課題が見られる。

〈学習状況調査〉

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対する「当てはまる」割合が、全国平均を上回った。
 - 「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」に対する「当てはまる」割合が、全国平均を上回った。
 - 「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」に対する肯定率(「できている」「どちらかといえば、できている」)が、全国平均を下回った。 → 学びのふりかえりや自己調整の機会のさらなる充実が求められる。
 - 「普段、1日あたりどれくらいの時間、SNSや動画視聴などをしますか」に対する「4時間以上」の割合が、全国平均を上回った。
- メディアコントロールに関する啓発や自身の生活のふりかえりの機会の確保が求められる。

※学校としての対応・目標

- ・「考えを発信する力」「粘り強く冷静に、必要な情報を選択し活用する力」を身につけるため、情報を整理し、自分の考えを自分の言葉で表現することに重点をおいた教育活動を目指します。
- ・個人で考える活動、グループで考える活動、全体共有する活動、そして個で考える活動をつなぎ、学びのサイクルを設け、自分の意見を表現する機会を増やす。この学びのサイクルを確立し、学習の最後の振り返りの活動を通して、主体的な学びを充実させます。
- ・授業の中で問題を解く時間を確実に設定することにより、家庭学習につなげ、学習内容の定着を図る。課題の出し方を工夫し、授業と家庭学習の連携を目指します。
- ・授業内での生徒と教師とのやり取りやグループ活動の場面を増やし、双方向の対話的な学びになるようにします。学級内や教師と生徒間の良好な人間関係づくりを目指します。

以上のような学校の指導意図をご理解いただき、ご家庭でもご協力いただきますよう、
 よろしく願いいたします。